

千年都市大阪 まちづくり物語

(財)大阪都市工学情報センター=編
A4判/本体価格2381円
1999年12月15日発行/(財)大阪都市工学情報センター/06-6647-1910

大阪のまちの成り立ちについて、古代から文明開化までを紹介。また、まちづくりの蓄積と展望について、明治以降を5つのテーマで展開する。約370点に及び写真・地図をおりませビジュアルにわかりやすく紹介している。

ヨーロッパ 橋ものがたり

成瀬輝男=著
B5判/本体価格2900円
1999年9月25日発行/榊東京堂出版/03-3233-3741

本書は、技術書でもなく、橋がいつ出来たか、誰が架けたかなどを列記した資料集でもない。橋という窓にこだわって、橋の窓からヨーロッパとその歴史を眺めた本である。

土木学を語る

竹内良夫=編
B6判/本体価格1905円
1999年11月30日発行/榊都市計画通信社/03-3794-6001

土木学を説く竹内良夫事務所の記念講演で講演した梅原猛、井上ひさし、高橋裕、大塩洋一郎、下河辺淳、河田恵昭、小笹博昭、土田肇、新井洋一、日下公人の10人の講演内容。土木技術者にエールを送る。

鉄道構造物等設計標準・同解説 耐震設計 コンクリート構造物 S I 単位版

運輸省鉄道局=監修
鉄道総合技術研究所=編
B5判/本体価格11000円/10000円
1999年10月20日/12月10日発行/丸丸善/03-3272-0521

本書は鉄道構造物の設計の実務に携わる方々のために、わが国の鉄道技術研究の中心的立場にある鉄道総合技術研究所が鉄道構造物の設計にかかわる技術基準を定め、まとめたもの。

[お詫びと訂正]

小誌12月号で下記の誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

1頁	目次右上6行目	佐藤敏行	佐藤敏之	71頁
9頁	表-1	差し換え	(下表)	115頁
14頁	右上8行目	図-1	表-1	127頁
68頁	図-1	四国縦貫自動車国道	四国横断自動車国道	

図-5 本文中に引用がないので削除。
下3段目 浅野高志 浅野 孝
コンクリートポンプ施工指針に関する講習会の開催日
2000年2月9日[水] 2000年2月10日[木]
連絡先 03-3355-3359 03-3355-3559

表-1 循環社会の主な内容

視点	主な内容	主な手段	
主要な個別分野	(1) 廃棄物関係	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の発生抑制, リユース, リサイクル(熱回収を含む) ・最終的に発生する廃棄物の安全処理 ・し尿, 浄化槽汚泥, 食物残渣などの有機性廃棄物の有効利用・再資源化(メタン発酵, コンポスト化など) ・再商品市場の保護・育成 	循環経済・廃棄物法(仮称)体系による対応, 廃棄物処分の有料化 循環経済・廃棄物法および環境諸法による対応 循環経済・廃棄物法下の諸政策
	(2) エネルギー関係	<ul style="list-style-type: none"> ・化石燃料使用の抑制 ・自然・再生可能エネルギー(太陽光発電, 太陽熱, 風力, バイオマスなど)の徹底利用 ・効果的な熱利用(生産工程の熱的改善, コージェネレーション, ヒートポンプ, 氷蓄熱など) ・原子力の抑制的利用(将来的には新設しない) 	京都議定書による規制, 環境税 環境税を財源とする助成 同上 エネルギー・環境政策による誘導
	(3) 食糧・農業関係	<ul style="list-style-type: none"> ・農地や農業従事者の確保 ・植林・育林の実施 ・営農での自然エネルギーの活用や有機農法の推進 ・持続的漁業を可能とする水産資源管理 ・開かれた農村にし, 民間資本も含む広いセクターの参加 ・都市部にも農業・植林・育林の奨励 ・余剰栄養分(N, P)はコンポストなどにして海外支援 	新・農業基本法の制定とそれに基づく新施策 農地法等の改正 クラインガルテン・都市農園などの設置 ODAの活用
	(4) 交通関係	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の低公害車への優遇 ・公共交通機関の利用促進 ・自転車(電機自転車なども含め)の利用促進 ・アイドリング・ストップ ・カーシェアリング 	環境税を財源とする助成, 料金政策による格差 「環境定期券」などによる利用促進 自転車専用道路の建設, 環境税を財源とする助成 条例など

(出典: 加藤三郎: 「循環社会」創造の条件, 日刊工業新聞社)